

やさしい街

広報誌

No. 184

ふれあい
ネットワーク

さっぽろ市社協

「さっぽろ発！東北復興支援・ボランティアバス」

～さっぽろ災害ボランティアレインボー号、発進！～

東日本大震災の発生から4ヶ月が経過しましたが、津波被害による家屋のがれき撤去・泥かきなどのボランティア活動の需要は、まだまだ、多くあります。

そこで、札幌市社会福祉協議会と株式会社日本旅行北海道札幌支店様との共同企画で、北海道で初めてとなる『さっぽろ発！災害ボランティアバス』を6月に2便、7月に3便の計5便を運行しました。

第1便は、6月11日(土)から、岩手県大槌町へ民家等の泥出しのボランティア支援に、第2便は、6月17日(金)から陸前高田市へがれきの撤去のボランティア支援に入りました。被災後ずっと何か自分出来ることはないか、何か支援をしたいと考えていた方が多い様子でした。

参加者は「実際にボランティアに取り組んだ期間は2日間ですが、少しでも被災地のために役立てたのであればうれしいです」との感想を述べられていました。

今回のボランティアバスの実施が好評で、急遽8・9月に1便ずつボランティアバスを実施することになり、こちらにも既に満席となりました。



岩手県大槌町での砂利清掃ボランティア活動



岩手県陸前高田市災害VC前にて2日間のボランティア活動を終えての集合写真

ご案内

名鉄観光サービス株式会社札幌支店様の主催で、札幌から宮城県へのボランティアバスツアーが8月下旬に全3便の日程で運行します。詳細は、下記へお電話いただくか、名鉄観光サービス株式会社のホームページをご覧ください。○名鉄観光サービス株式会社札幌支店 電話：011-241-4986

CONTENTS

- 2 福まちウィーク事業、さっぽろハーティーウィークのご案内
- 3 札幌市ボランティア研修センターから
- 4 地域福祉情報提供
- 5 シリーズ「これも社協の仕事」「区社協ここイチ事業をご紹介」
- 6・7 平成22年度の札幌市社協事業報告・決算、札幌市共同募金委員会から
- 8 情報トピックス



本誌は赤い羽根共同募金の助成金で発行されています

9月第3週(9月11日～17日)は福まちウィーク期間

地域でお互いに支え合い、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目的にスタートした福祉のまち推進事業(福まち)は市内89地区で活動に取り組んでいます。より多くの市民の皆様に福まち活動の周知や地域福祉活動の必要性をご理解いただくため、9月第3週を福まちウィークと位置づけ、様々なイベントを開催します。

①「福まち発」地域福祉市民活動フォーラム ～地域は今、災害とどう向き合うべきか～

これまでの地域福祉は、日常生活における支え合い活動を推進してきておりますが、将来的には、頻発する自然災害に対する備えという側面も考えていくことが求められています。

平成20年度以降、札幌市が「災害時要援護者避難支援モデル事業」を進める中、当該事業に取り組む地区福祉のまち推進センターもあり、より幅広い市民参加と理解を得ながら、福まち活動の更なる充実を図った実例もあります。

災害時の対応を福まちだけで担えるものではありませんが、地域と災害の関係が注目される中、「地域は今、災害とどう向き合うべきか」をテーマに、市民活動フォーラムを開催します。

○開催日時：平成23年9月14日(水) 13時30分～16時15分

○開催場所：北海道立道民活動センター(かでの2・7)

北海道鍼灸専門学校かでのホール

(住所：中央区北2条西7丁目道民活動センタービル)

○基調講演

演題 「災害時に備えての福まち活動のあり方」

講師 日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 准教授 原田 正樹 氏

○実践報告

報告者 豊平区西岡地区福祉のまち推進センター運営委員長 国島 紀雄 氏

白石区北白石地区北郷親米第一町内会 会長 田畑 隆二 氏

コーディネーター 日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 准教授 原田 正樹 氏

○申し込みについて

例年ご好評をいただいております。申し込みは先着順になりますことをご了承ください。なお、福まち活動者等の関係者の皆様におかれましては、別途、送付するご案内によりお申し込みください。



昨年度の地域福祉市民活動フォーラムの様子

②「福まち活動写真及び広報紙」コンクール入賞作品展

○開催期間：平成23年9月14日(水)～9月17日(土)

○開催場所：札幌市社会福祉総合センター1階ロビー

※9月14日のみフォーラム開催場所の「かでの2・7」のロビーに展示します。

○内 容：地区福まちの活動の様子を捉えた「活動写真」と「広報紙」の入賞作品展示



昨年度のコンクールの様子

③小学生の描く「人にやさしい福祉のまちづくりポスター」入賞作品展

○開催期間：平成23年9月11日(日)～9月17日(土)

○開催場所：地下街オーロラタウン内「オーロラスクエア」

○内 容：小学生の描いた「福祉のまちづくりポスター」の入賞作品展示

上記各種イベントに関するお問い合わせ先 札幌市社会福祉協議会 地域福祉係(8ページ参照)

さっぽろハーティーウィーク(札幌市高齢者保健福祉週間)行事のご案内

① 第9回シニア提言の集い

○開催日時：平成23年9月7日(水) 14時～15時30分

○開催場所：札幌市社会福祉総合センター4階 大研修室

○内 容：下記テーマに沿って募集した提言の中から事前審査を通過した方の発表とシンポジウム
テーマ「老後残したいもの、捨てたいもの」

○参加方法：当日直接会場へお越しください。

○問い合わせ先：NPO法人シーズネット(011-717-6001)

② 第28回 1000人ダンススポーツフェスティバル

○開催日時：平成23年9月18日(日) 11時～16時

○開催場所：北海道立総合体育センター(きたえーる)(住所：豊平区豊平5条11丁目1-1)

○参加方法：ダンスタイム、マンボ・ドドンパ・サンパタイム、ふれあいタイム、シルバ大会は年齢を問わずどなたでも参加できますので、当日会場へお越しください。グループ発表、シルバーコンペ(65歳以上)は9月3日(土)までに下記へお申し込みください。参加費無料。

○問い合わせ先：1000人ダンススポーツフェスティバル実行委員会 実行委員長 村上 トミエ(011-811-5842)

札幌市・区災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを作成しました

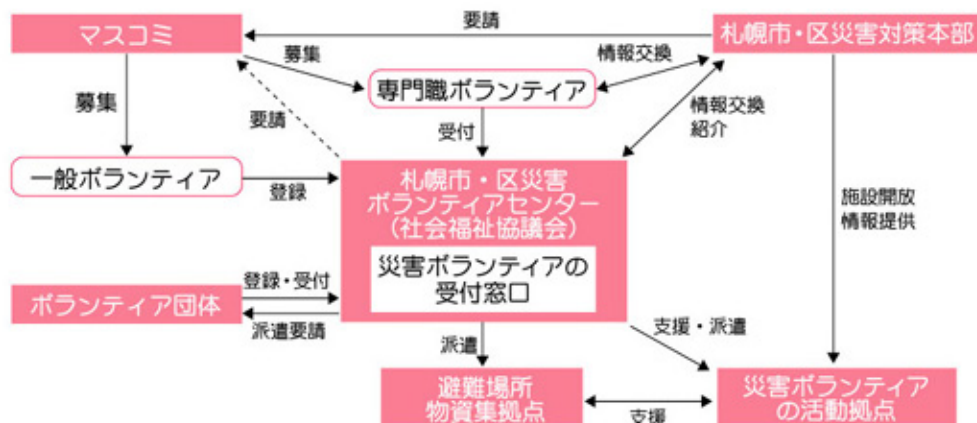
東日本大震災でも、被災地で寄せられるニーズと地元や県外から応援に駆け付けるボランティアのコーディネートを行う機関として、『災害ボランティアセンター』が注目されました。

札幌市では、昨年度に大規模災害を想定した札幌市地域防災計画の見直しが行われ、災害時のボランティア活動を円滑に展開するため、日頃からボランティアセンターの運営及び地域とのネットワークづくりを進めている札幌市社会福祉協議会が中心となって、NPOやボランティア団体と連携して災害ボランティアセンターの設置及び運営をするため、「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を作成しました。現在まで道内の市町村では、江別市・釧路市のみ作成しています。

このマニュアルは、災害時のボランティアの受入等に関する基本的な考え方を中心に記述しており、当面の大規模災害に備えた準備に活用すると共に、災害が発生した場合には、それぞれの場で担当するスタッフ等に活用していただくこと想定しています。

今後は、より具体的なボランティアセンターの運営や活動について、連絡会議の開催やセンター運営シュミレーション等を通して、マニュアルを更に整備していく考えです。

札幌市・区災害ボランティアセンターの運営イメージ図



ボランティア活動に取り組みませんか？

各区の社会福祉協議会では、毎年、高齢者・障がい者・児童施設や保育園などで募集するボランティア活動をまとめたボランティア受入表を作成しています。日常的に、継続して活動できる日常的ボランティアと、ボランティア活動のきっかけとなるボランティア体験と2種類の活動があり、ボランティア体験には、学生が夏休み期間中に取り組みことができる体験メニューもあります。

また、札幌市ボランティアセンター、各区の社会福祉協議会では、各種研修やボランティア関連行事、単発のボランティア活動情報などを掲載したボランティア情報誌を1ヶ月～2ヶ月毎に作成をしています。

札幌市ボランティアセンター、各区の社会福祉協議会にて、それぞれ配布していますので、ボランティア活動に興味のある方は、是非ご活用下さい。窓口にも気軽にご相談ください。



ボランティア研修センターの研修のご案内

【認知症の方とのコミュニケーション講座】

認知症高齢者に対する介護方法や接する際に、必要な基本的知識を学びます。

- ▼日 時／8月25日(木) 10時～15時
- ▼受講料／500円 ※弁当持参
- ▼場 所／札幌市ボランティア研修センター 第1研修室
- ▼内 容／「認知症の基礎知識」

講師：グループホームもえれのお家
施設長 長井 卷子 氏
「認知症高齢者に対するケアの基本とコミュニケーション方法について」
講師：北海道男性在宅介護者のつどい
小番 一弘 氏

【将来のための安心介護講座】

在宅介護や介護支援ボランティア活動に取り組む際に必要な知識や技術を実技を通じて学びます。

- ▼日 時／9月7日(水)、9日(金)、12日(月)、14日(水) 10時～12時
- ▼受講料／800円
- ▼場 所／札幌市ボランティア研修センター 第1研修室
- ▼内 容／「介護の考え方と利用者の接し方」「移動支援と食事介助」他

講師：北海道ホームヘルプサービス協議会
副会長 力徳 キヨ子 氏

ボランティアに関する問い合わせは、下記までご連絡ください。
問い合わせ先 札幌市ボランティア研修センター (8ページ参照)

福まち活動の手引き(福祉推進委員会の開設・活動編)の紹介

～福祉推進委員会の活動のバイブルとしてご活用ください～

札幌市社会福祉協議会では、地域住民の主体による、見守り・訪問活動による安否確認を中心とした様々な地域福祉活動を小地域の単位町内会区域で推進していますが、活動を推進する上で重要な役割を果たすのが「福祉推進委員会」です。

平成22年度に、「福祉推進委員会」の設置の促進と活動の活性化を目的に、各区の社会福祉協議会で福祉推進委員会をテーマとした研修会を実施し、多くの福祉推進委員会の関係者や単位町内会の役員の皆様に参加いただきました。その研修会の中で、福祉推進委員会の仕組みが理解できない、どのように見守り活動に取り組んだらよいかかわからないなどの声をいただきました。

そこで、本会では、福祉推進委員会の開設・活動方法をテーマとした福まち活動の手引き(福祉推進委員会の開設・活動編)を作成しました。福祉推進委員会の活動概要・開設手順、見守り活動や町内会の福祉活動を実践する有効な活動の紹介など、福祉推進委員会の立ち上げ、活動の実践、活動の発展の流れをご理解いただける内容となっております。

福まち活動の手引きは、本会、各区の社会福祉協議会で配布します。また、社会福祉協議会の職員が町内会や福祉推進委員会に出向き、福まち活動の手引きを活用して、福祉推進委員会の活動について説明を行うことも可能ですので、下記へご相談ください。

問い合わせ先：地域福祉係(8ページ参照)



札幌たんぽぽ歌の会 第22回盲導犬育成チャリティー発表会のご案内

ボランティア団体「札幌たんぽぽ歌の会」は、日本舞踊・フラダンス等の団体のご協力のもと、第22回盲導犬育成チャリティー発表会「歌と踊りの集い」を開催します。これまでに、北海道盲導犬協会や札幌市社会福祉協議会の愛情銀行等に収益金の一部を寄付しており、今年は東日本大震災の義援金として寄付したいと考えています。歌や踊りに興味があり、イベントの趣旨にご賛同いただける方のご参加をお待ちしております。

また、「札幌たんぽぽ歌の会」は、毎週水曜日の13時から白石区民センターを会場に歌の練習を行っていますので、歌が好きでボランティア活動に興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

日時：平成23年9月25日(日)10時～17時 ※開場は9時半

場所：札幌市教育文化会館 大ホール

内容：歌、日本舞踊、フラダンス等

入場券：1,500円

問い合わせ先：盲導犬育成ボランティア事務局 電話：011-866-0026

札幌たんぽぽの会 会長中山宅 電話：011-864-3577



第20回盲導犬育成チャリティー発表会の様子

平成23年 福祉住宅建築助成金応募要項

趣 旨／ 障がい者や高齢者が安心して快適に暮らすことの出来る社会づくりの一環として、福祉住宅向上・普及を目指し、誰もが願う住環境の整備を図っていくことを目的としています。

助成金対象／ 福祉住宅や福祉小規模集合住宅(おおむね10名程度が居住する共同住宅)として、新築またはリフォームした建築主を対象に、今後の参考に資すると思われる施行物件に対して助成します。

応募方法／ 設計士や施工業者、理学療法士や作業療法士など専門家のアドバイスを含め、福祉住宅として工夫や配慮した点を助成給付申請書(当財団ホームページからダウンロードできます)に記入の上、申し込んで下さい。

応募期間／ 平成23年11月30日まで

審査／ 当財団で委嘱した有識者による助成金給付審査委員会で選考します。

決定／ 発表は平成24年2月(予定)、支給は平成24年3月(予定)
※当財団情報誌「ふれあい」に掲載させていただく物件については、事前に取材を予定しております。

助成金／ 一件あたり、最高30万円から5万円まで。ただし総額300万円の範囲内。

応募先・詳細についてはこちらまで

財団法人ノーマライゼーション住宅財団

〒060-0042 札幌市中央区大通西16丁目2-3 ループル16・9F

TEL: 011-613-7551 FAX: 011-612-8431 <http://www.normalize.or.jp/>

シリーズ「これも社協の仕事」

シリーズ「これも社協の仕事」の第2回目は、札幌市内にお住まいの中国帰国者の皆さんが、安心した生活を暮らすための支援をしている中国帰国者生活相談室について紹介します。

○中国帰国者生活相談室とは？

札幌市から委託を受けて、札幌市社会福祉協議会で運営しております。相談員3名体制で、中国帰国者及びその家族の方の、自立した生活を送るための生活相談や支援をしています。



○主な活動の内容は？

日頃の悩みをお聞きし、必要な関係機関等の情報提供や助言をします。また、言葉の問題のため、就職先あるいは通院先の医療機関への通訳支援も行っています。また、帰国者の交流を図るためのイベントの様子や、福祉制度の内容を掲載した広報誌（相談室から今日は！）を作成して、中国帰国者の方にお送りしています。

〈活動例〉

- 仕事** 面接先に同行して、通訳をします。
- 生活の悩み** 介護保険の手続き支援や、介護関係者への通訳をします。
- 医療機関** 持病等の通院のため、医療機関や薬局に同行して、通訳します。
- 子供の教育** 進路説明や三者面談にあたり、担当教諭と面接のために、通訳します。
- 住まい** 転居にあたり、各種手続きの方法を情報提供します。

○相談できる日

月曜日～金曜日（午前9時～午後5時）、年末年始及び祝祭日は休み。 電話：011-614-2180



（第6号）※本会のホームページにも掲載しています。

区社協ココイチ！事業をご紹介

白石区社協 防災福祉マップの作成支援

東日本大震災を契機に、地区福まちや町内会での防災意識や地域住民の支え合いの意識が高まっていますが、白石区社会福祉協議会では、今年度から防災福祉マップの作成支援の取り組みを始めました。

防災福祉マップづくりの意義や活用方法などを説明する出前講座を開催したり、町内会範囲の住宅地図を拡大して地区社会福祉協議会・地区福祉のまち推進センターへ無償提供することにより、見守り活動などで防災福祉マップを活用していただくことが主たる事業内容です。提供したマップは、災害時の要援護者、支援者の位置、避難場所を記載するなど地域でご活用いただけます。また、必要に応じてマップ更新作業の援助も行っています。

マップに要援護者と支援者を落とし込むことで、エリア内に要援護者・支援者がどこに何人いるのか視覚的に捉えることができ、日頃の支援につながりやすくなる効果や、地域の関係機関が福祉課題を共有する機会にもなります。

災害弱者となる一人暮らしの高齢者、身体の不自由な方等がどこに住んでいるのか、避難場所がどこなのかがわからなければ、災害発生時に迅速な避難活動や支援活動を行うことは困難です。また、普段から、見守り・安否確認活動や声かけにより、要援護者と支援者との顔をつないでおくなどの備えが重要となります。

札幌市社会福祉協議会及び白石区社会福祉協議会では、福まち活動の基本的活動である見守り活動の推進の効果的な手段として、マップづくりを推進していきます。



基金訓練

緊急人材育成・就職支援基金事業

2つの資格取得が可能
ホームヘルパー2級
介護保険事務士上級

同時募集 ◆通信課程 ホームヘルパー2級養成講座 期間 3ヶ月 受講料 4000円
◆eラーニング受講生（介護保険事務士上級）※詳しくはお問い合わせ下さい。

募集中

●お問い合わせ 医療・福祉の現場から誕生した
学校法人 つしま記念学園

専門学校日本福祉学院
札幌市中央区南1条西4丁目5-1 札幌大手町ビル9階
連絡先▶011-218-7400



札幌市共同募金委員会から

平成 22 年度 札幌市共同募金委員会 決算報告

(単位：円)

●寄付金会計

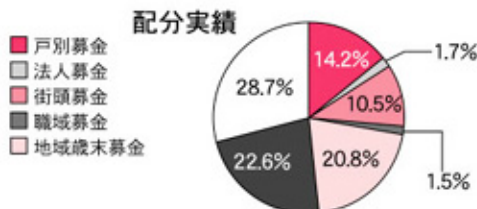
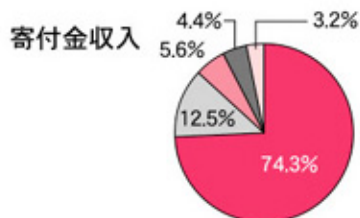
寄附金収入・支出		110,834,392		配分金収入・支出		69,670,079	
一般募金	107,330,746	戸別	82,359,671	一般配分金	66,122,950	〈市地域配分内訳〉 市・区・地区社協 33,625,000 福祉団体 8,675,000 福祉施設 1,200,000	
		法人	13,905,778	道地域配分金	22,622,950		
		街頭	6,208,704	市地域配分金	43,500,000		
		職域	4,856,593				
地域歳末募金	3,503,646			歳末配分金	3,547,129	道民歳末 300,000 円を含む	

(注)「寄付金支出」は道共募への送金。「配分金」は、一部を除き平成 22 年度募金によるもので、市共募經由のみ。

●事務費会計

(単位：円)

収入	14,094,481	支出	11,262,201	人件費	6,445,612	翌年度繰越金	2,832,280
(うち支会分会費交付金)	(10,500,000)			事務費	445,868		
				事業費	4,370,721		



- ハンディキャップを持つ方々の社会自立のために
- 子どもたちや母子・父子家庭福祉のために
- 高齢者福祉のために
- NPOやボランティアの活動のために
- 様々な福祉活動のお知らせ・共同募金運動推進のために
- 私たちの福祉のために
- 全道・広域の福祉のために

平成 23 年度 札幌市共同募金委員会会長表彰

平成 23 年 7 月 4 日に開催した札幌市社会福祉大会において、赤い羽根共同募金運動にご尽力された地区分会及び学校を表彰いたしました。これからも、ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

優秀地区《継続の分野》 長年継続して期待額を達成した 4 地区分会

- 特別表彰 期待額 20 年継続達成
 - ・中央区共同募金会 幌西地区分会
 - ・南区共同募金会 石山地区分会
- 期待額 5 年継続達成
 - ・東区共同募金会 苗穂東地区分会
 - ・南区共同募金会 南沢地区分会



石山地区分会



南沢地区分会

優秀地区《優秀の分野》 区共同募金会会長より推薦された優秀地区 10 地区分会

- | | | | |
|---|----------------------|--|---------------------|
| 中央区共同募金会
・円山地区分会
・豊水地区分会
・大通地区分会 | 北区共同募金会
・新琴似西地区分会 | 東区共同募金会
・丘珠地区分会
・栄東地区分会
・伏古本町地区分会 | 西区共同募金会
・発寒北地区分会 |
| | 白石区共同募金会
・東札幌地区分会 | | 手稲区共同募金会
・前田地区分会 |



新琴似西地区分会

《優秀学校の分野》 共同募金運動に功績のあった学校 3 校

札幌市立栄中学校



ボランティア活動の一環として、募金活動を行っています。今後も地道に活動します。

札幌市立厚別北中学校



やさしさをもって社会に目を向けるため、生徒会で赤い羽根に取り組んでいます。

札幌市立手稲西中学校



生徒会を中心に毎年取り組んできました。今回の受章はとても励みになります。

東日本大震災 義援金の報告 (平成 23 年 6 月末日現在)

札幌市共同募金委員会、各区の社会福祉協議会にてお受けいたしました東日本大震災の義援金の 6 月末日の合計額は、3,169 万 9,181 円となりました。また、札幌市共同募金委員会にて、募金資材の貸し出しを行い、街頭募金活動や募金箱の設置に取り組んでいただいている団体や企業は 124 団体となります。

5 月 20 日には、北区の新琴似連合町内会様から、地域の皆様や企業・団体で集めた義援金 500 万円のご寄付をいただき、札幌市共同募金委員会会長より感謝状を贈呈させていただきました。



▲新琴似連合町内会様



▲札幌鉄道少年団募金活動の様子

お問い合わせ：札幌市共同募金委員会 011 - 614 - 3532

賛助会員の募集

札幌市社会福祉協議会では、活動に賛同し協力していただける賛助会員を募集しています。皆様からいただいた賛助会費は、札幌市の地域福祉を推進する貴重な財源として、様々な事業に役立てています。本会の活動の趣旨をご理解いただき、地域福祉のサポーターとして、お互いに支え合う街づくりの実現のため、ご協力をお願いいたします。

【年会費】

■個人（1口）1,000円

■団体（1口）10,000円

問い合わせ先 総務課（下記参照）

ご寄付ありがとうございました

（札幌市社会福祉協議会愛情銀行）

5月受理分

★札幌菱友会・三菱業務懇談会 様
日本ハムファイターズ
観戦チケット286席分

※市内特別支援学校等へ配布

★でかけるかい札幌ボランティア
相互協力会 様 32,000円

★佐藤水産株式会社 様 200,000円

6月受理分

★株式会社ツルハ
ホールディングス 様 1,698,137円

※849,069円を白石区のきさく苑へ指定寄付



札幌菱友会・三菱業務懇談会 様



でかけるかい札幌
ボランティア相互協力会 様



佐藤水産株式会社 様

札幌市社会福祉協議会の連絡先

〒060-0042

札幌市中央区大通西19丁目1番1号 札幌市社会福祉総合センター内

代表	011-614-3345
総務課	011-614-3343
札幌市社会福祉総合センター	011-614-2948
地域福祉課地域福祉係	011-614-3344
生活福祉係	011-614-0169
FAX（上記共通）	011-614-1109
情報センター資料室	011-614-2001
FAX	011-615-2666
自立支援課	011-612-6110
高齢者・障がい者生活あんしん 支援センター（相談係）	011-632-7355
FAX（上記共通）	011-613-5486

〒060-0001

札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ2F

札幌市ボランティア研修センター	011-223-6005
札幌市ボランティアセンター	011-219-1737
FAX（上記共通）	011-261-8881

札幌市社会福祉総合センター・札幌市ボランティア研修センターでは会議室、研修室の貸出を行っています。ボランティア活動や市民活動の打ち合わせや研修の場としてご活用ください。（受付時間：月曜日から金曜日8：45～17：15）。

情報センター資料室より

今回のオススメ

「パロン、いっしょにあるこう！」

大島 まや 作/狩野 富貴子 絵 PHP 研究所

盲導犬を引退したパロンはパートナーの「お父さん」と別れて新しい生活を始めますが・・・。

犬のパロンの姿を通じて、悲しみを乗り越え自信を取り戻す喜びを伝える、子供にも、大人にもおすすめの童話です。



身近な地域福祉情報は、お近くの区社会福祉協議会の
広報誌・ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>

札幌市社会福祉協議会広報誌「やさしい街」

通巻184号 2011年7月25日発行

発行/社会福祉法人札幌市社会福祉協議会

プラグはコンセントにしっかりと
差し込んで使いましょう。



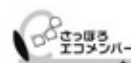
北海道
でんき保安協会

<http://www.hochan.jp>

本部：札幌市西区発寒6条12丁目6番11号

☎(011) 555-5001 (代)

企画から印刷・製本まで
トータル技術で社会に貢献する



SK 株式会社 **さんけい**

〒063-0850 札幌市西区八軒10条西12丁目2-48

☎(011) 611-8866(代) FAX(011) 611-0422